

震災から2年半が経過して 子どもを取り巻く現状と課題 — 小中高生の子ども支援活動の現場(被災沿岸部)から —

2013.06.27

特定非営利活動法人キッズドア

課題

- **生活インフラ及び学習環境が未整備**
特に、全国と競わなければならない高校生には、過酷な環境 ※地元市町又は県外転出の原因
- **不透明な将来キャリア**
(農漁業を起点とした2次・3次産業の喪失・経営不振)
- **不登校の長期化**
(生活環境変化や家庭内不和による)
- **運動能力の低下**
(バスでの登下校と遊び場の激減による)
- **自治体の子どもに係る人員不足、
仙台市(政令市)と他の市町、
被災度合による市町間格差**
※市町内の地区別の格差を含む

対応案

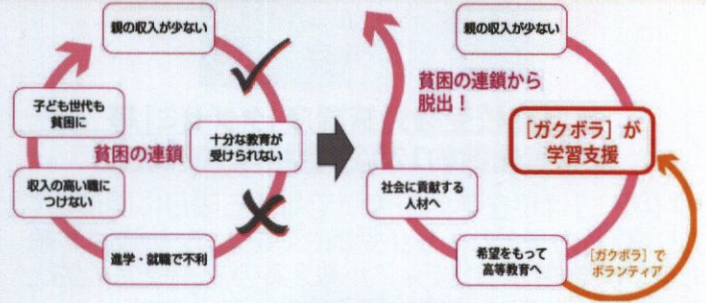
- **学校内または地域の放課後学習会を
各地域のNPO等へ委託**
※例: 志津川高校での標準学力調査(CRT)2013の結果、
放課後学習会を実施していた南三陸町立戸倉中学校卒の
生徒が成績上位を占めた。学習習慣と自信がついた。
 - **生活インフラ等の整備または金銭的補助**
※スクールバスの細かな運用と予算確保 (平成26年度までは
スクールバスの予算がついているが、27年度以降は不明)
※就学援助 被災者枠がいつまで続くのか見通しが立っていない
見えていないので、先が分からないと準備できない
 - **産業再生・振興及び子どもたちの関与**
※力のあるコーディネーターを派遣し、地元での職業教育や
生き抜く力の育成(志教育)に関連させて実施
- **仮設運動場の早期改修または設置**
※仮設住宅がある校庭には、ボール除けの高いネットを設置
して、ボール遊びも可能にする。空き地に運動場を増設する。
- **教育、福祉、産業、復興計画の各部局
の連携促進**
※「力のある」コーディネーターを配置する
※コーディネーター役として民間コンサルタント、又は、
NPO等に委託する (中間支援NPOに委託しては効果なし)

すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現に向けて

子どもたちに将来への希望を与え、社会に貢献する人材を輩出しています



「お金がないから」と将来をあきらめている子どもたちに、大学生ボランティアが無償で高校受験対策を行うことで貧困の連鎖から抜け出すサポートをし、社会に貢献する人材を輩出する。



子どもの貧困は大きな社会課題です

日本の子どもの貧困率は 15.7%(前調査から +1.5%)

OECD 加盟国の子どもの貧困率の平均は 12.4% です。貧困層に当たる子どもたちは、一人 114 万円 / 年で暮らす生活です。またひとり親家庭の子どもの貧困率は 50.8% となっています。

教育格差—保護者の経済状況が子どもの成績や進学に影響

日本では教育にお金がかかるために、保護者が裕福だと子どもの学力が高く、保護者の収入が低いと子どもの学力も低い傾向にあります。

例) 算数の学力テスト：年収 1,000 万円以上 平均 66 点、年収 500 万円以下 42 点。

1 年間で 142 人の子どもが虐待で亡くなっています

児童虐待のあった家庭のうち、「生活保護」「所得税非課税」などの対象の低所得世帯は約 65% です。また、児童養護施設に入所する児童の 6 割が虐待を受けた経験があります。

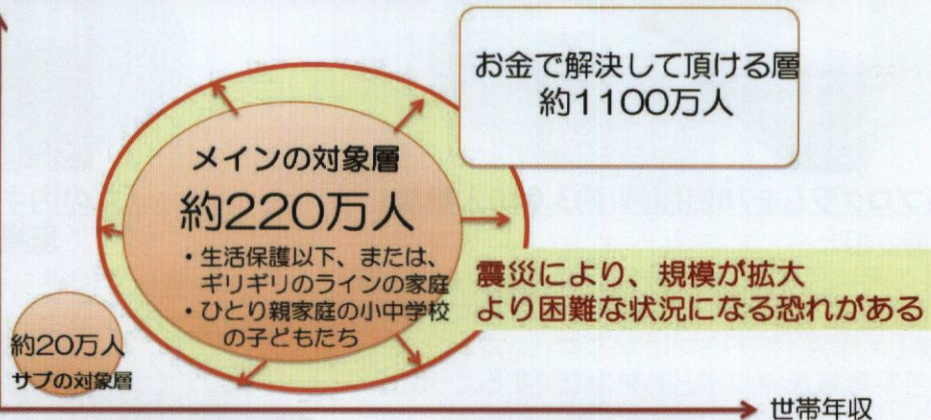
少年院における新規収容者のうち、28.8% が貧困層

犯罪が重くなるほど、家庭の貧困率も上がる傾向にあります。

行政・民間両方のサポートを受けづらい子どもたちが対象です

民間のサポート
(塾、家庭教師など)

行政のサポート
・児童養護施設
・生活保護世帯他



主な活動実績

低所得層・ひとり親の子ども



**無料高校受験対策講座「タダゼミ」等
受講者総数約120名!合格率90%以上!**

[タダゼミ]は現在都内二箇所毎週日曜日に開催しており、37名の子どもたちが受講しています。勉強は年齢の近い大学生ボランティアが教えるので、子どもたちとの信頼関係も築きやすい環境になっています。

東日本大震災



岩手・宮城・福島

参加者102人、公立高校合格率98%!(進学率100%)

教育委員会などと協力しながら、岩手・宮城・福島の中学生向け無料高校受験指導を5カ所で行いました。その他に被災した子どもの心のケアの小冊子を製作し、自治体や支援団体に約4,500部配布しました。

外国にルーツを持つ子ども



**東京都中央区との協働事業
28回開催、125名参加!**

東京都中央区との協働事業で、毎月2,3回中央区で暮らす外国にルーツを持つ小中学生に学習支援を行っています。日本に来て間もない小学生に対しては、専門知識を持ったボランティアスタッフが日本語指導も行っています。

児童養護・母子生活支援施設

**企業などからのご支援をいただいて、
都内10施設、合計120回開催!**

進学率の低い児童養護施設や母子生活支援施設へと大学生ボランティアが行き、学習支援を行うことで、一つのロールモデルとなり、高校や大学への進学意欲向上にもつながっています。また、他の子どもたちが当たり前のようにしている社会体験活動の機会を提供することで、自己肯定感向上にも役立っています。



小学校・地域センター



「楽習」プログラムを78回開催!約3,000人参加!

有料の学習支援サービスを受けられない子どもの多くは、小学生の時に勉強につまづき苦手意識をもってしまいう傾向があります。このプログラムでは小学校などと協力し、「楽しく学ぶ」をテーマに学ぶ楽しさを教え、勉強への苦手意識を持つ子どもを少なくするようにしています。

無料キャリア教育イベント



**「丸の内キッズジャンボリー」出展!
来場者約2,000人/日!**

毎年、夏休み国際フォーラムにて開催される「丸の内キッズジャンボリー」で、企業や他のNPOとともに子ども向けのワークショップを行い、キャリア教育や体験活動の提供を行っています。

2012年実施中(2011継続含む) ※カッコ内は、スポンサー

子どもの心のケアの小冊子 (JKA)
※2000冊の増刷と配布 (日本ユニセフ協会)

- 釜石**
 - 釜石市教育委員会「高校進学準備ゼミ」2011 (日本音楽財団)
 - 大島中学校「高校進学準備ゼミ」2011 (中央基金会)
 - 大島小学校・中学校 フットサル教具 寄贈 2011 (FCバルセロナ)
- 気仙沼**
 - 戸倉中学校「高校進学準備ゼミ」2011~2012 (文部科学省)
 - 戸倉・志津川小学校 放課後見守り事業 (日本ユニセフ協会)
 - 戸倉小学校「ふるさと教育」支援 (日興AM)
 - 戸倉小学校「復興教育活動の事例・運用集」2012 (文部科学省)
 - OECD東北スクール&戸倉地域スクール 2012 (OECD、文部科学省)
- 南三陸**
 - 南三陸町 学童保育 2011 (歌津・志津川:WVJ、戸倉:日本財団・JKA)
- 仙台**
 - 中高生向け受験対策講座[タダゼミ]&[ガチゼミ] 2012 (福祉医療機構)
 - ※教材協力:ベネッセコーポレーション、河合塾、日本コスモピア
 - 仙台市立高砂中学校 放課後学習会 (文部科学省)
 - グローバル教育「TEENS Global Cafe」(住友商事)
- 会津若松**
 - 中学生向け受験対策講座[タダゼミ] 2011 (AMEX、日本フィナンソワ―協会)
 - 会津若松市・大熊町・楡葉町 2011 (東日本大震災復興支援財団)
 - 中高生向け学習支援「ふみだす集中ゼミ」
- 楡葉町**
 - 楡葉町教育委員会、住民福祉課「ならはキャンパス」(文部科学省)
 - ゆずりは学習会 [中学校放課後、サポートセンター「空の家」]
 - グローバル教育「Global Stream」(ハンコフアムカ・マルチン日本証券)
- 東京**
 - 中学3年生向け高校受験対策講座 [タダゼミ] 杉並、足立
 - 中央区 教育委員会 外国から来た子どもの学習支援 (中央区)
 - 世田谷区 ひとり親家庭の子どもの学習支援 (世田谷区)
 - 母子生活支援施設の中学生向け学習支援 4拠点
 - 児童養護施設の中学生向け学習支援 5拠点 (ゴールドマン・サックス)
 - 都内避難所での学習会 (日本財団、UBS)
 - 都内に避難している子どもの英会話教室 (UBS、中央基金会)
 - 足立区3小中学生向け学習支援塾 (足立区)

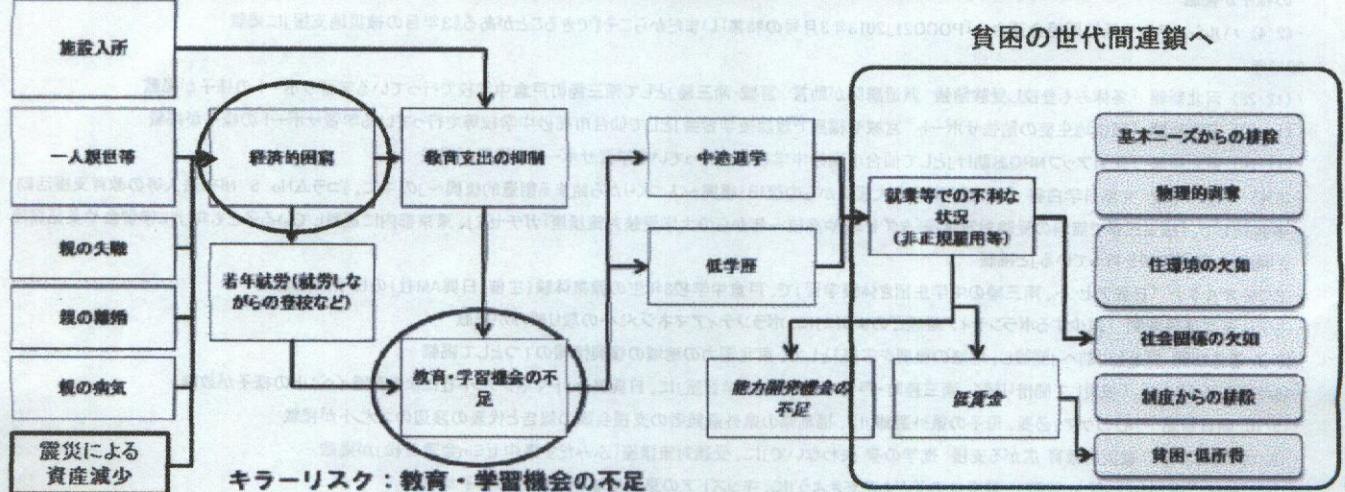
Copyright © 2012 NPO KidsDoor 1

(参考) 震災で、急に貧困の連鎖に落ちる可能性がある 今必要なのは親の雇用機会と子どもの学習機会

リスク連鎖を整理し、それらを俯瞰して見た上でどのようなリスク連鎖が起こりうる可能性があるのか、典型的なパターンを整理。⇒「教育・学習機会の不足」が貧困の連鎖のキラーリスク

- 「教育・学習機会の不足」および「低学歴」は、非正規雇用などの不安定な就労につながりやすく、不安定な就労は、能力開発機会の不足や低収入につながり、結果として貧困状態からの脱却が難しくなる。また、不安定な就労は、社会とのつながりも弱く、社会や地域との接点の不足などから社会関係の欠如につながることも指摘される。

図表3 典型的なパターンの例(教育・学習機会の不足から社会的排除状態に至ってしまうリスク連鎖分析チャート図)



キラーリスク：教育・学習機会の不足

NRI Copyright (C) 2011 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. ※ 不安定な就労にさらにリスク(日雇労働、労働災害、制度・解雇など)が連鎖して、「基本ニーズからの排除」、「物理的隔離」、「住環境の欠如」、「制度からの排除」につながることも指摘



2012年11月20日 河北新報「学カアップNPOお助け」



2012年12月28日 河北新報「冬休みも登校し自習」



OECD東北スクール
2013年5月3日 Wale Parisien "Ils feront le <Wa>"

NPO法人 キッズドア メディア掲載履歴(一部)

2013年

- ・(4/22) NHK Eテレ「あしたをつかめ〜しごとともくらしも〜」にキッズドア職員の安池豊が、バンクオブアメリカ・メルリンチ社とのグローバル基礎教育プロジェクト「グローバルストリーム」に取り組む様子が放映
- ・(4/6) 東京新聞 グローバル基礎教育プロジェクト「グローバルストリーム」の春講習の様子が掲載
- ・(4月) 浜島書店 高校の教科書「最新図説現社」の中の経済についての資料「格差問題を考える」に、貧困の連鎖を断ち切るために活動するとしてキッズドアが紹介
- ・(3/8) 少年写真新聞社「中学・高校保健ニュース」 理事長渡辺の連載「震災後の2年間とこれから〜子どもの未来を見据えた復興を〜」が掲載
- ・(2/15) 聖学院大学人間福祉学部子ども心理学発行「子どもの心にそっと寄り添う〜被災地の子どもへのケア 第二版〜」に、子どもに関する支援活動に取り組む団体として、キッズドアを掲載して頂きました。
- ・(2/4) 週刊教育資料2013年2月4日号「特別企画 被災地での学習支援で報告会—高校生も意見発表—」として、3年目以降の支援の在り方についてのシンポジウムの様子が掲載
- ・(2/4) バルシステム生活協同組合連合会「POCO21」2013年3月号の特集「いまだからこそ『できることがある』3年目の被災地支援」に掲載

2012年

- ・(12/28) 河北新報「冬休みも登校し受験勉強 派遣講師が助言 宮城・南三陸」として南三陸町戸倉中学校で行っている学習サポートの様子が掲載
- ・(11/27) 東京新聞「被災地生徒の勉強サポート 宮城や福島で放課後学習会」として仙台市高砂中学校等で行っている学習サポートの様子が掲載
- ・(11/20) 河北新報「学カアップNPOお助け」として仙台市高砂中学校等で行っている学習サポートの様子が掲載
- ・(8月) 平成23年度 文部科学白書「第1部 東日本大震災からの復旧・復興〜人づくりから始まる創造的復興〜」の中に、『コラムNo. 5 NPO法人等の教育支援活動事例』として、「被災三県で無料の受験対策講座「タダゼミ」や高校一年からの大学受験対策講座「ガチゼミ」、東京都内に避難している子ども向けに学習会や英語講座を開講し、学習支援を行っている」と掲載
- ・(8/29) オルタナ「日興アセット、南三陸の中学生招き体験学習」で、戸倉中学校3年生の職業体験(主催:日興AM社)の様子が掲載
- ・(8/21) 東北復興新聞「減少するボランティア継続どのように」に、ボランティアマネジメントの取り組みが掲載
- ・(8/9) 電気新聞『「ともに前へ」開設し、地域の復興を応援』として、東北電力の地域の復興情報の1つとして掲載
- ・(6/22) ミヤギテレビ「被災して間借り続く 南三陸町・戸倉小にふるさと学習室」に、日興アセットマネジメント社による寄贈イベントの様子が放映
- ・(5/10) 朝日新聞「心のケア」必要、母子の県外避難」に、福島県の県外避難者の支援会議の報告と代表の渡辺のコメントが掲載
- ・(2/10) 産経新聞「被災地教育 広がる支援 進学の夢 失わないで」に、受験対策講座「ふみだす集ぞん会津若松」が掲載
- ・(2/5) NHK「復興カレッジ in 釜石 被災地の子どもを支えよう」に、キッズドアの東北地域の活動等の様子が放映
- ・(1/21) 朝日新聞『「いまでもたちは 被災「人」のために働きたい」』に、南三陸町立戸倉中学校での学習会の内容が掲載
- ・(1/12) 河北新報「河北抄」に、仙台で行っている中3生向け受験対策講座の様子が掲載
- ・(1/5) 福島テレビ「FTVスーパーニュース」に、中3生向け受験対策講座「たぐゼミ」の様子を伝える「NPOキッズドアの活動」の様子が放映